

令和 7 年度 村政懇談会（桧原地区）開催報告

令和 7 年 11 月 17 日、金山地区生きがい学習施設にて「村政懇談会（いまトーク）」を開催いたしました。当日は、悪天候の中、21 名の住民の皆様にご参加いただき、将来予測される人口減少やインフラ維持の課題を共有した上で、桧原・早稲沢・金山地区の暮らしと未来について、切実かつ具体的な意見交換が行われました。

開催概要

- ・ **日時**：令和 7 年 11 月 17 日（月） 19 時 00 分～20 時 30 分
- ・ **場所**：金山地区生きがい学習施設
- ・ **出席者**：地域住民の皆様 21 名、村長、副村長、教育長、総務企画課長、企画室職員

当日の主な議論（概要）

村より、2050 年には人口が半減し、公共施設維持費の負担増が見込まれる等の推計データを説明。「厳しい未来予測をどう変えていくか」をテーマに、以下の分野で議論が行われました。

1. 生活基盤・インフラ整備について

【住民からのご意見】

- ・ **郵便局・除雪**：桧原郵便局の廃止情報に不安を感じている。地域インフラとして不

可欠であり、公共施設内への簡易郵便局設置などを検討してほしい。また、今年度からの除雪サービスは評価するが、大雪時の運用改善を求めたい。

- **空き家対策**：住めない状態で放置されている家屋や、所有者と連絡がつかない物件への対策（ペナルティ等含む）を強化すべき。
- **水道料金**：季節就労や二拠点居住などで、冬期間不在にする場合の水道基本料金のあり方について検討してほしい。

【村の考え方】

- 郵便局については事業者と協議中ですが、庁内でも検討を進めます。除雪サービスは初年度の運用状況を見ながら改善を図ります。空き家については、危険箇所の指導や解体補助の案内を継続して行います。

2. 産業・観光振興（北側エリアの活性化）について

【住民からのご意見】

- **ビジョンの提示**：単なる現状維持ではなく、5年後・10年後の観光や農業をどうしたいのか、村としての具体的なビジョンを示してほしい。
- **エリア誘客**：観光客の多くが裏磐梯地区に留まり、桧原・金山・早稲沢地区まで足が伸びていない。金山跡の活用や景観整備（紅葉植樹など）、村有施設の利活用を進め、滞在時間を延ばす工夫が必要。早稲沢地区の宿泊・合宿施設の維持への支援も

急務。

【村の考え方】

- 第6次総合振興計画の策定にあたり、皆様の意見を反映させます。特に観光資源の創出や、地産地消・買い物環境の整備など、地域にお金が回る仕組みづくりを検討します。

3. 福祉・健康・地域サービスについて

【住民からのご意見】

- **公衆浴場（湖望の湯）**：営業時間が短縮され、働く世代が利用しにくい。燃料費高騰等の事情は理解するので、料金を見直してでも夜間の営業時間を延長してほしい。
- **交通**：コミュニティバスの冬季ダイヤ等の周知を、回覧板だけでなく全戸配布で徹底してほしい。

【村の考え方】

- 公衆浴場の利用時間や料金設定については、担当課と協議し検討します。バスの時刻表等は全戸配布による周知徹底を図ります。

4. 防災・鳥獣被害対策について

【住民からのご意見】

- **情報伝達**：防災無線がノイズで聞き取れない地域がある。緊急情報が届くよう機器の点検・整備を求めた。
- **鳥獣対策**：ハンター（実施隊）のなり手不足が深刻。免許取得費用の補助や、捕獲個体の埋設用地への補償など、村の支援が不可欠。サル対策が深刻であり対応を強化して欲しい。
- **観光施設の防除**：キャンプ場等へのクマ・サル被害対策として、電気柵の導入補助を観光事業者にも適用してほしい（現在は農業用が主）。

【村の考え方】

- ハンターの育成・支援については、免許取得補助や活動環境の整備を含め検討します。電気柵の観光業への助成適用についても検討を進めます。